

ちよつと よりみちライブ

令和7年(2025年)度 後期

お仕事帰りのひとときを、無料ライブでお楽しみください。

会 場 きららホール TEL 047-423-7261

(船橋市民文化創造館) 船橋市本町1-3-1 フェスビル6階
JR・東武船橋駅南口、京成船橋駅徒歩2分

開 場 14:30 入場無料 定員250名
開 演 15:00 (約120分)

ちよつとよりみちライブ特別公演は曜日と開演時間が
通常とは異なりますのでご注意ください。

特別公演 令和7年10月4日(土)

第13回 船橋のたからもの！船橋の郷土芸能
「飯山満町大宮神社の神楽」
大宮神社神楽楽人

開 場 18:00 入場無料 定員250名
開 演 18:30 (約45分)

vol.241 令和7年10月16日(木)

情熱の秋 KLEASコンサート
～ソプラノとアコーディオンの音色に包まれて～
KLEAS
後藤 真美 (ソプラノ)
土屋 恵 (アコーディオン・ピアノ)

11月のちよつとよりみちライブの開催はございません。

vol.242 令和7年12月18日(木)

華麗なる北インド宮廷音楽と舞踊の世界へ
ようこそ！
寺原 太郎 (パーンスリー)
池田 絢子 (タブラ)
岡田 麻衣子 (カタックダンス)

※都合により出演者が変わる場合がございます。

主 催 きららHall 船橋市民文化創造館

ちよつとよりみちライブ特別公演は
曜日と開演時間が通常とは異なりますのでご注意ください。

特 別 令和7年10月4日(土)

公 演 14:30開場 15:00開演

第13回 船橋のたからもの！船橋の郷土芸能
「飯山満町大宮神社の神楽」



船橋の文化的財産である郷土芸能(神楽)と、それを継承する地域の方々を解説付きでご紹介。地元でしか見ることのできない神楽を、きららホールでお届けする。

神楽とは、神に奉納するために行われる歌舞で、宮中で行われるミカグラ、民間で行われる“里神楽”に分けられる。本市の神楽は里神楽で、市内五つの神社に伝承されていて、県内でもこれほど多くの神楽が残されている所は少なく、船橋の文化の特徴といえる。

飯山満町大宮神社の神楽

飯山満町大宮神社の神楽は、谷津の本郷(習志野市谷津)から伝わったといわれ、一時期途絶えていたが、村に不幸があったときに再度谷津から習って復活したといわれている。使う楽器と演奏者の人数は、大太鼓(鉦打太鼓)1人、小太鼓(締太鼓)1人、笛3人で、古くから村が成立していたといわれ農業が盛んであった飯山満の地で、独自の工夫を加え、五穀豊穡を願い豊作に感謝して伝えてきた特色ある神楽である。

現在演じられている曲目は、①みこ舞②天狗(猿田彦)③八幡太郎(知之利)④うすめ⑤こかじ(住吉舞)⑥翁⑦神明(種蒔ぎ)⑧きつね(天狐)⑨神功皇后⑩ひよとこ⑪いびす様(蛭子)⑫鬼・鐘馗(山神)の計12座。このうち、神功皇后は市内では大宮神社だけで演じられている曲目である。

vol.241 令和7年10月16日(木)

情熱の秋 KLEASコンサート
～ソプラノとアコーディオンの音色に包まれて～



クレアス
KLEAS

自分達らしい光や輝きをもつクリエイティブな音楽を、幅広い世代やより多くの方に楽しんでもらいたいという思いで、2020年より2人での演奏活動を開始し、翌年ユニット「KLEAS」を結成。幼少期より学んできたクラシックをはじめ、ジャズ、タンゴ、ボサノバ、ロック、ポップス…等、国や言語、ジャンルにとらわれず垣根のない音楽と、豊かな表現力で魅了する。

ゴトウ マミ
後藤 真美 (ソプラノ)

大分県出身、船橋市在住。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。大分二期会会員。第10回全日本高等学校声楽コンクール第1位受賞、助成金を受けウィーンへ短期留学。これまで、歌劇「フィガロの結婚」バルバリーナ役、花娘役、歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」デスビーナ役、歌劇「道化師」ネッダ役、喜歌劇「こうもり」アデーレ役等で出演。2017年に唱歌・日本歌曲を収録したCD『こころ歌』リリース。クラシックのみならず、ジャンルを超えた歌唱も得意とし、ロックやポップスが融合したアニメやゲーム音楽、映画やCMにも携わっている。

ツチ ヤ メグミ
土屋 恵 (アコーディオン・ピアノ)

福島県いわき市出身。4歳よりピアノを始め、東京音楽大学ピアノ専攻卒業、スペインにてディプロマ取得。音楽表現の幅を広げるためボタン式クロマティックアコーディオンを始め、アコーディオン国際アンサンブルコンクールにて最優秀賞、他多数受賞。リーダーアルバム『Accordion Love』を全国リリースし、Amazon1位を獲得。Music for SDGsで国連関係イベントやバリコレ、イギリス開催JapanMatsuri出演。自分自身も救われた音楽の力を、多くの人々に役立てるべく、様々なアーティストと共演し、国内外にて幅広いジャンルで演奏活動中。

11月のちよつとよりみちライブの開催はございません。

vol.242 令和7年12月18日(木)

華麗なる北インド宮廷音楽と舞踊の世界へ
ようこそ！

テラハラ タロウ
寺原 太郎 (パーンスリー)

インド古典音楽とパーンスリーの旋律に魅せられ、1992年より中川博志氏に、1996年よりH.Amit Roy氏に師事。2006年よりオーストラリアWoodford folk festivalに継続出演。坂本龍一「ロハス・クラシックコンサート」、映画「手塚治虫のブッダ 赤い砂漠よ永遠に」、「るろうに剣心」、朝ドラ「舞いあがれ!」等で挿入曲を演奏。第10回千葉市芸術文化新人賞奨励賞を受賞。インド、オーストラリア、米国をはじめ国内外で広く演奏活動を行う。インド古典音楽の深い理解に基づく、叙情的かつダイナミックな演奏で各方面より高い評価を受ける。 <http://srgmtaro.jimdo.com/>



イケダ アヤコ
池田 絢子 (タブラ)

タブラをU-zhaan、Pt. Anindo Chatterjee、Anubrata Chatterjee各氏に学ぶ。インド古典音楽の公演や、CM音楽・TVドラマの劇伴に参加。町田・万象房、渋谷・宮地楽器タブラクラス講師。 <https://ayako0109.wixsite.com/ayako-ikeda>



オカダ マイコ
岡田 麻衣子 (カタックダンス)

北インド古典舞踊カタックの踊り手。7歳よりクラシックバレエを始め、日本女子体育短期大学舞踊専攻を卒業。様々なジャンルのダンスを経験する中、アジアの「踊りを神に奉納する」という考え方に惹かれ、インドへ旅したことをきっかけに2012年より前田あつこ氏に師事しカタックを学ぶ。2015年からは、複数回に渡りインド・アーメダバードでの短期研修を重ね、Sanjukta Sinha氏に師事。イベント出演の他、自主公演を行っている。



ちょっと
よしみちライブ

令和7年(2025年)度 後期

お仕事帰りのひとときを、無料ライブでお楽しみください。

会 場 きららホール TEL 047-423-7261
(船橋市民文化創造館) 船橋市本町1-3-1 フェスビル6階
JR・東武船橋駅南口、京成船橋駅徒歩2分

開 場 18:00 入場無料 定員250名
演 18:30(約45分)

vol.243 令和8年1月15日(木)
船橋よりみち落語会
～春風亭柳雀・春雨や晴太二人会～

春風亭 柳雀
春雨や 晴太

vol.244 令和8年2月19日(木)
A Journey through Broadway
～ミュージカルを彩る名曲コンサート～

横洲 かおる (ヴォーカル)
瀧澤 行則 (ヴォーカル)
高知尾 純 (ピアノ)
パーカス石井 (パーカッション)

vol.245 令和8年3月19日(木)
多国籍ラテンバンドで巡る南米の古今東西名曲コンサート
メキシコ・ブラジル・キューバ・コロンビア

Caribbean Function
山田 翔一 (トロンボーン・ウクレレ・ヴォーカル)
後藤 沙紀 (ピアノ・ピアノカ)
新井 健太郎 (ベース)
木川 保奈美 (パーカッション・ヴォーカル)

※都合により出演者が変わる場合がございます。

主 催 きららHall 船橋市民文化創造館

vol.243 令和8年1月15日(木)
船橋よりみち落語会
～春風亭柳雀・春雨や晴太二人会～

春風亭 柳雀

船橋市夏見台出身。公益社団法人落語芸術協会所属。昭和46年5月26日生まれ。小学生の時に読んだ子ども向けの落語の本をきっかけに落語を好きになる。大学で落語研究部に入部し、10年以上のサラリーマン生活を経て、落語家への思いを断ち切れず、平成20年9月瀧川鯉昇に入門。前座名「鯉ちゃ」。平成24年9月師匠の前名を継ぎ春風亭柳若で二ツ目昇進。令和4年5月春風亭柳雀で真打昇進。

春雨や 晴太

埼玉県狭山市出身。公益社団法人落語芸術協会所属。昭和62年2月15日生まれ。サラリーマン時代に会社の近くの寄席に通い、自分もこの世界で生きていきたいと思い、平成27年2月春雨や雷蔵に入門。令和元年11月二ツ目昇進。

vol.244 令和8年2月19日(木)
A Journey through Broadway
～ミュージカルを彩る名曲コンサート～



横洲 かおる (ヴォーカル)
船橋市在住。東京学芸大学卒業後、劇団四季に入団。「王様の秘密」などに出演。退団後は、Voice Artistとして「声を使った空間づくり」を掲げ、全国で歌手活動やMC、声の魅力を引き出す講座等を展開。コンサートでは、「ひとりミュージカル」等ジャンルを問わない演出が世代を超え人気を博す。チェザリィヴォーカリスイズ®発声法 Natural Singer®認定ヴォイストレーナー。「素敵なお母さんコンテスト2008」日本大会グランプリ、世界大会準グランプリ受賞。

瀧澤 行則 (ヴォーカル)
1998年劇団四季の研究所に入所。2009年に退団。日本＆モンゴル国交樹立45周年公演「マダレナ」モンゴル公演にて「イヨマンテの夜」を披露。これまでに「ジーザス・クライスト・スーパースター」「ハムレット」「美女と野獣」「アニー」「ドン・キホーテ」「ロミオ&ジュリエット」「北原ミレイ物語」、洗足学園音楽大学MS公演等に主演出演多数。フォーリーブスおりも政夫のうたごえ時代うたごえ隊。ダンディーズとしてバリ祭に出演。

高知尾 純 (ピアノ)
1984年生まれ。クラシック/ミュージカルを中心に全国各地で様々な演奏家と演奏活動を行う。印西国際音楽コンクール 第2位。全日本ピアノコンクール 第2位。これまでにピアノを草川宣雄、御邊典一、ヴィクトール・マカロフに、作曲を小川悦司に師事。2015年より京成ホテルミラマーレ音楽プロデューサーを務めている。

パーカス石井 (パーカッション)
16歳の時、ラジオから流れるジャズドラマー、ジョージ川口の演奏を聞いた事がきっかけとなりドラムを始め、前田憲男、雪村いづみ等のビッグネームとの共演を果たす。また船橋市公認の認知症カフェ「注文を忘れるJAZZ喫茶」を主催し、認知症に対する啓蒙活動も行う。演奏活動ではJazzをはじめ洋楽、Pops、ミュージカルなど、あらゆるジャンルへの対応力とその温厚な人柄で演奏依頼が多く、その活動の幅を広げている。

vol.245 令和8年3月19日(木)
多国籍ラテンバンドで巡る南米の古今東西名曲コンサート
メキシコ・ブラジル・キューバ・コロンビア



Caribbean Function
ヤマダ ショウイチ
山田 翔一 (トロンボーン・ウクレレ・ヴォーカル)
ゴトウ サキ
後藤 沙紀 (ピアノ・ピアノカ)
アライ ケンタロウ
新井 健太郎 (ベース)
キカワ ホナミ
木川 保奈美 (パーカッション・ヴォーカル)

ラテン音楽と一口に言っても、国や地域でサウンドや曲調は様々。キューバのサルサ、ブラジルのサンバ、メキシコのマリアッチ、コロンビアのクンビア等々、南アメリカ大陸にはたくさんの音楽があり、日本国内でもそれぞれのジャンルを専門的に演奏するバンドは多数あるが、それらを「一つのバンドでやっちゃおう!」というバンドがCaribbean Functionである。

インストゥルメンタルの曲もあれば、リーダーがスペイン語で歌うマリアッチや他のメンバーがポルトガル語で歌うサンバもある。そして南米諸国のエッセンスを凝縮したリーダー山田翔一のオリジナル曲は、時にメロディアス、時にリズムカルで、関東各地のライブ会場で好評を博している。

2020年よりオールドジャズの殿堂として名高いHUB浅草店で名門ジャズバンドに並んでレギュラーバンドを務めており、2023年10月にはオリジナルアルバムLa Exótica(ラ・エキゾチカ)をリリース。現在も東京、埼玉、神奈川を中心にライブハウスやイベントに出演し精力的に活動中。